
開講科目名：刑事法研究（4単位）

開設年次：1年 2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：清水 裕樹

《授業の概要》

この授業では、犯罪と刑罰に関連した法や制度について取り扱います。受講者が比較的多数になる場合には、講義形式をベースに行いますが、小規模なクラスになる場合には、受講者の関心や理解度も考慮しつつ、対話を中心とした授業にするつもりです。

刑法学の理論を中心とした授業を行う予定ですが、それにとどまらず、現代社会における犯罪と刑罰をめぐる実態や刑事手続に関する事項、事例を用いた学習なども取り入れたいと考えております。

刑事法に関心のある方の受講をお待ちしております。

授業で取り扱うことを予定している内容のモデルは、下記の通りです。

（実際には、受講者の人数やこれまでの学習歴などを考慮して授業を構成します。）

1. 刑事法は何のためにあるか
2. 現代社会における犯罪の概況
3. 現代社会における刑罰適用の概況
4. 刑事法のシステム
5. 刑法の意義・機能・基本原則
6. 構成要件とその基本的な要素
7. 故意と過失
8. 因果関係と錯誤
9. 未遂犯と不能犯
10. 違法性の本質と可罰的違法性
11. 正当行為と被害者の同意
12. 緊急行為
13. 有責性の本質と責任能力
14. 共犯
15. 罪数
16. 生命に対する罪
17. 身体に対する罪
18. 自由に対する罪
19. 財産に対する罪
20. 社会的法益に対する罪の概要
21. 文書偽造の罪
22. 国家的法益に対する罪の概要
23. 特別刑法について（1）
24. 特別刑法について（2）
25. 刑事手続の概要
26. 捜査と公訴の提起
27. 公判手続
28. 事例を用いた理解の確認（1）
29. 事例を用いた理解の確認（2）
30. 刑事政策の基礎

成績評価は、授業中の発言や受講態度を考慮するとともに、複数回実施するレポートの内容を元に行います。

《テキスト》

特に指定はしません。資料などは適宜配布します。

初回授業で学習の仕方などについてお話ししますので、不安な方はそれを聞いた上で、準備を整えるようにしてください

《参考書》

井田良『基礎から学ぶ刑事法』（有斐閣アルマ）

刑事法領域を広くカバーする入門書。刑事法の学習が初めてだという方に特におすすめします。

安田拓人・島田聡一郎・和田俊憲『一人で学ぶ刑法』（有斐閣）

刑法総論・各論分野の理解を確認し、より進んだ内容を学ぶことのできる演習書。刑事法についてより高度な知見を身につけたい方におすすめします。

田口守一・佐藤博史・白取祐司『目で見える刑事訴訟法教材』（有斐閣）

刑事手続の概要をコンパクトにまとめた一冊。実務で用いられる書式をはじめ、多くの資料が付されており、実際の手続きをイメージしやすい参考書です。特に刑事訴訟法をこれまで学んだことのない方におすすめします。

『犯罪白書』（法務省webページで公開）

今の日本における犯罪と刑罰をめぐる現状理解に役立つ資料。法制度や理論を学ぶことはもちろん大切ですが、実態を知ることも大切です。